

あおしんの CSR(企業の社会的責任)活動

あおしんは、お客さまからの大切な預金を主に貸出金として地域の皆さんに円滑に供給するという金融機関本来の役割に加え、地域との協調・連携を一層強化し、地域社会の持続的な発展(共存同榮)に努めています。

あおしんの経済的・社会的・環境的な各種活動を、「地域」「お客さま」「職員」という3つの視点から紹介します。



あおしんと地域

地域 金融機能を通じた地域貢献

地域の皆さんからお預かりした大切な資金を、地域で必要とされるお客さまに円滑にご融資するという金融機関本来の役割を果たすことで地域のお役に立っています。

● お客さまからの預金積金、預り資産

当金庫で公的年金をお受取りいただいているお客さまを対象とした「あおしん年金3倍定期預金」や退職金を対象とした定期預金のお取り扱いのほか、懸賞付定期預金キャンペーンを実施し、期間中にお客さまから抽選でギフトカードやグルメ券などの商品を進呈させていただきました。その結果、多くのお客さまから預金をお預かりし、預金積金残高は、前年度比905億円増加し、8,697億円となりました。

預り資産残高については、投資信託の残高は基準価格の上昇もあり前年度比14億円の増加となりました。一方で、保険商品は、終身保険や平準払い保険の残高は増加したものの、年金保険の満期などにより前年度比22億円の減少となり、預り資産合計では前年度比7億円の減少となりました。

残高推移等の詳細につきましては、20ページをご覧ください。

● お客さまへのご融資

新型コロナウイルス感染症の拡大が長期化し、多くの事業者の経営に影響を与える中、あおしんでは、積極的かつ迅速に金融支援をおこなってまいりました。

また、個人の方にも生活に必要な資金需要に積極的にお応えしてまいりました。

その結果、貸出金残高は前年度から396億円増加し、5,028億円となりました。

残高推移の詳細につきましては、21ページをご覧ください。

地域 地域社会への貢献活動

信用金庫は、会員や地域の皆さんに金融機能を通じ、社会的・公共的使命を果たすことで地域に貢献してきました。あおしんでは、CSR（企業の社会的責任）の重要性を認識し、創業以来、地域に根差した活動から地域やお客さまと信頼関係を構築してきました。

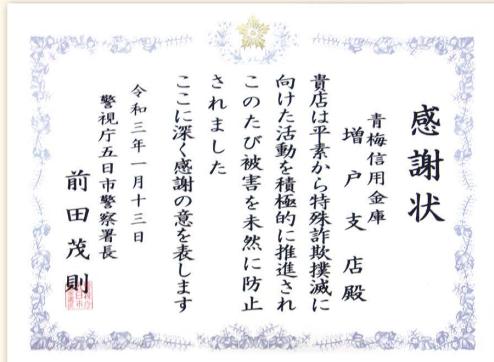
●特殊詐欺未然防止の取り組み

振り込め詐欺などの特殊詐欺被害を未然に防止する取り組みとして、高額の現金出金や振込を希望されるお客さまには、内容の確認やアンケートを実施しています。

また、特殊詐欺の撲滅に向けた取り組み強化月間には、一人でも多くのお客さまに特殊詐欺への認識を高めていただくため、チラシやポケットティッシュの配布をおこなっています。

これらの取り組みにより、詐欺を未然に防ぎ、警察署より表彰を受けています。

今後もお客さまの大切な財産をお守りするためにも、警察と連携を図り、特殊詐欺の撲滅に努めています。



●あおしん地域文化振興基金助成金を贈呈

当基金は、「小・中学生の文化・体育・スポーツ振興を通じて地域社会に貢献する」ことを目的に創設され、今年で30年目となりました。今年度は、24市町村に贈呈金ならびに17市にテント37張りを贈呈し、助成金総額は3億9千5百万円、テント贈呈総数は371張りとなりました。



●美しい多摩川フォーラムへの応援活動

あおしんは、美しい多摩川フォーラム（事務局は当金庫）への応援活動を通じ、官民広域連携による地域づくり運動を実施しています。詳しい活動内容については、14~15ページにご紹介していますのでご覧ください。



●「2020年度東京都スポーツ推進企業」の認定を受けました

東京都では、従業員のスポーツ活動を推進する取り組みや、スポーツ分野での社会貢献活動を実施している企業等を「東京都スポーツ推進企業」として認定しており、あおしんが所有する厚生施設を、全国大会出場を目指すスポーツクラブに練習場として提供する取り組みが評価され、創設以来6年連続で認定を受けました。(2015年度に初認定以来、6年連続の認定)



●金融経済教育への取り組み

関東財務局東京財務事務所、藍澤證券株式会社との連携により、青梅市立吹上中学校において将来のキャリアや資産形成の醸成を目的とした金融リテラシー・キャリア授業を10月10日と11月27日の計2回おこないました。あおしんと藍澤證券株式会社は2019年4月に包括的業務提携をしており、信用金庫、証券会社、関東財務局の3者による金融の授業は全国初となりました。

授業当日は、あおしんと藍澤證券株式会社の新入職員がペアとなり、1年生と特別支援学級への授業を担当し、金融機関の役割りや将来の資産形成の重要性などについてクイズ形式でわかりやすく説明しました。

2年生への授業は、関東財務局東京財務事務所の職員が担当し、キャッシュレスの概要や電子マネーの仕組みなどについてわかりやすく説明しました。

3年生への授業は、あおしんと藍澤證券株式会社の新入職員が担当し、生徒たちは地域特産を活かした商品開発の提案をグループごとに発表、事業活動や起業などに関する基礎知識を学びました。

今後も次代を担う子供たちが金融・地域経済の仕組みを理解し、将来のキャリア・資産形成に関する知識を高められるよう努めていきます。



地域 地域金融円滑化の取り組み

あおしんは、新型コロナウイルス感染症による金融支援を図るため、「新型コロナウイルス感染症緊急相談窓口」を全店に設けています。また、これまで同様「地域金融円滑化のための基本方針(中小企業者ならびに住宅資金借入者からの相談申込みがあった場合の当金庫の基本方針)」に則り、中小企業・個人事業主のお客さまからのご返済や経営に関するご相談、住宅ローン返済の見直しに関するご相談窓口も全店に設けています。

1. 取組み方針

- (1) 当金庫は、「共存同榮」の精神のもと創業いたしました。その理念に基づき、地域の中小企業及び個人のお客様に安定した資金を提供していきます。
- (2) 当金庫は、お客様からの資金需要やご返済に関するご相談、またご返済条件の変更等のお申込みがあった場合には、これまでと同様に真摯に取組んでまいります。
- (3) 当金庫は、お客様の抱える悩み・問題の解決に向けてサポートいたします。

2. 金融円滑化措置の円滑な実施に向けた態勢整備

当金庫は、上記取組み方針を円滑に実施するため、以下のとおり、必要な態勢整備を図っております。

(1) 金融円滑化対応連絡会の設置

金融円滑化に向けた当金庫の方針を全店で強力に実施するため、実務を担当する金融円滑化対応連絡会を設置し、金融円滑化の推進に努めております。

金融円滑化管理責任者：営業推進部担当役員

金融円滑化対応連絡会メンバー：営業推進部(主管部)、融資部より構成

(2) お客様へのきめ細やかなサポート体制

- ①各営業店に金融円滑化対応責任者を配置し、全店舗に「事業資金・住宅ローンご返済相談窓口」を設置いたしました。
- ②当金庫職員による経営改善計画書作成支援や作成後の相談支援に取組んでおります。
- ③経験豊富な職員により経営相談に取組んでおります。
- ④「財務診断サービス」によるお客様の財務内容の改善提案を行っております。

3. 他の金融機関等との緊密な連携について

当金庫は、複数の金融機関から借入れを行っているお客様からご返済条件の変更等の申し出があった場合には、他の金融機関や信用保証協会等との緊密な連携を図って対応いたします。なお、その際には守秘義務に留意しつつ、お客様の同意を得たうえで、これらの関係機関と情報の確認・照会を行うなど、緊密な連携を図りながらお客様の資金繰りや金融の円滑化に努めてまいります。

4. ご相談窓口

(1) ご返済に関する相談窓口(全店舗及びフリーダイヤル共に、土日祝日及び年末年始の休業日は除く)

①全店舗にて受付

受付時間 9時～15時(営業時間外でも17時まで各営業店にて電話で受付いたします)

②フリーダイヤル0120-60-1130 受付時間 9時～17時

③ご相談内容 中小企業・個人事業主のお客様・住宅ローンご利用の個人のお客様からのご融資に関する各種ご相談(ご返済・ご返済条件等に関するご相談、経営全般に関するご相談等)

(2) ご返済条件の変更等に関する苦情相談については、各営業店副支店長または次の相談窓口をご利用下さい。

青梅信用金庫 お客様相談室

専用電話0120-00-2085 受付時間 平日9時～17時

あおしんとお客さま

お客さま お客さまへの支援活動

いつでもご相談できる体制で、事業のライフステージに応じた適切な経営支援をおこなっています。

● お客さま支援体制を強化

お客さまのさまざまなニーズや課題解決に向けた体制を強化するために、営業推進部コンサルティング課内に中小企業診断士を配置し、お取引先の事業性評価や課題解決支援、職員の相談能力アップに積極的に努めています。

● 中小企業の経営改善への取り組み状況

地域金融円滑化の推進を図るため、お取引先の経営相談、経営改善、事業再生支援を積極的に展開しています。金融円滑化対応のため引き続き態勢整備を強化し、今年度もより深い支援を図るため経営改善支援取り組み先の見直しをおこない、110先選定しました。なお、経営改善計画書策定支援を累計1,159先に実施しています。経営改善計画書策定後はモニタリングを実施し改善提案をおこなっています。

● 経営改善支援の取り組み実績 (2020年4月1日～2021年3月31日)

		期初 債務者数	うち経営 改善支援 取り組み先数					経営改善支援 取り組み率	ランクアップ率	再生計画 策定率
				α	β	γ	δ			
正常先	①	7,000	0			0	0	0.0		0.0
要注 意先	うちその他要注意先 ②	3,193	57	4	49	56	1.8	7.0	98.2	
	うち要管理先 ③	6	1	0	0	1	16.7	0.0	100.0	
破綻懸念先	④	545	52	4	45	50	9.5	7.7	96.2	
実質破綻先	⑤	107	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	
破綻先	⑥	19	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	
小計(②～⑥の計)		3,870	110	8	94	107	2.8	7.3	97.3	
合 計		10,870	110	8	94	107	1.0	7.3	97.3	

(注)・本表で使用している率については、四捨五入で表示しています。

- ・期初債務者数及び債務者区分は2020年4月当初時点としています。
- ・債務者数、経営改善支援取り組み先は、取引先企業(個人事業主を含む)であり、個人ローン、住宅ローンのみの先を含んでいません。
- ・ β には、当期末の債務者区分が期初よりランクアップした先数を記載しています。
- ・期初の債務者区分が「うち要管理先」であった先が期末に債務者区分が「うちその他要注意先」にランクアップした場合は β に含めています。
- ・期初に存在した債務者で期中に新たに「経営改善支援取り組み先」に選定した債務者については(仮に選定時の債務者区分が期初の債務者区分と異なっていたとしても)期初の債務者区分に従って整理しています。
- ・期中に新たに取引を開始した取引先については本表に含めておりません。
- ・ γ には、期末の債務者区分が期初と変化しなかった先数を記載しています。

● コンサルティング機能の発揮状況

経営改善計画書作成支援

当金庫は経営革新等支援機関として全店に「コンサルティングリーダー」を配置しています。当金庫の直接支援により、経営改善支援の他に外部機関や外部専門家をご紹介し、早期経営改善を図れるよう経営改善計画作成支援をおこなっています。

事業再生検討会

事業再生が必要な先へ提携先の税理士や公認会計士による財務内容改善提案や事業内容見直し提案、事業の継続性や事業性評価をおこない問題解決を図っています。

経営相談会

外部中小企業診断士と当金庫内中小企業診断士が連携し、企業診断を基に直接お客様の経営相談をおこない、経営問題解決の提案を毎年上期と下期に開催しています。

事業性評価推進ミーティング

当金庫内中小企業診断士が営業店と協力し、お客様の事業性を評価し、融資の推進や経営者との信頼関係を深めています。

外部連携機関・外部専門家との連携

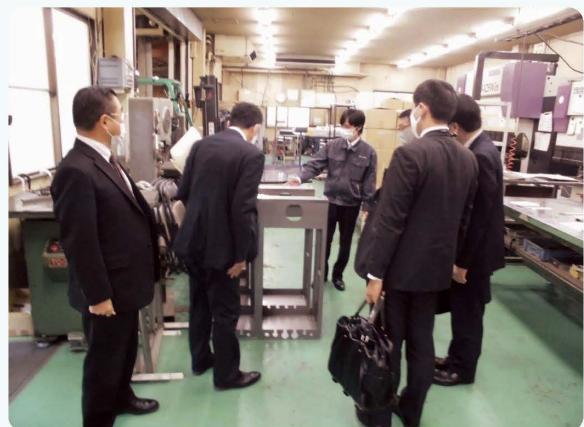
- ◆ 経済産業省関東経済産業局、(株)地域経済活性化支援機構、中小企業再生支援協議会、中小企業支援ネットワーク(信用保証協会)、日本公認会計士協会、税理士協会、よろず支援拠点、TKC西東京山梨会、中小企業診断士協会、中小企業診断士、公認会計士、税理士、弁護士、経営革新等支援機関等と連携し支援する体制を図っています。
- ◆ 経済産業省のおこなっている「ミラサポ」による専門家派遣、信用保証協会の中小企業支援ネットワーク(経営サポート会議)による企業再生に向けた具体的な支援方針の提案など、外部機関と連携しさまざまな経営改善のための支援活動をおこなっています。

コロナ禍における職員の目利き能力の向上

- ◆ コロナ禍における企業の支援力の向上を図るべく、支店長、営業推進課長、ファイナンシャル営業を対象に「プロのコンサルタントから学ぶ業種別事業性評価能力向上研修withコロナ」をおこないました。
- ◆ お客様の事業性を理解するため、国が推奨する「経営デザインシート」を活用した事業性評価を導入し、その結果をお取引先企業へフィードバックするための研修を実施し、お取引先企業との相互理解に努めました。



「プロのコンサルタントから学ぶ業種別事業性評価能力向上研修withコロナ」の模様



「経営デザインシート研修」の模様

事業承継支援

経営者の高齢化が進み、日本経済を支える中小企業・小規模事業者の雇用や技術の喪失といった問題がクローズアップされています。こういった問題に対し当金庫では計画的な事業承継に取り組めるよう、積極的に専門家派遣による事業承継相談会を開催しております。

●経営相談への取り組み

お客さまのさまざまな経営課題の解決支援のため、ライフステージに応じた円滑な資金提供はもとより、コンサルティング機能の発揮のため「中小企業経営力強化支援法」に基づく「経営革新等支援機関」として、財務省関東財務局および経済産業省関東経済産業局から認定を受け、外部機関や外部専門家との連携強化を図り経営相談・経営支援および課題解決型金融の実践に取り組んでいます。

経営革新等支援

- ◆ものづくり補助金をはじめとした、各種補助金の申請を支援する取り組みをおこなっています。
- ◆経営革新等支援機関(外部専門家)による経営改善計画書策定支援事業を支援しており、同計画作成時も補助金対象となります。

自社株評価サービス

中小企業の事業承継への取り組みを支援するために、決算書の分析による自社株評価サービスを財務診断サービスと共におこなっています。

財務診断サービス

お客さまの経営状況と財務内容の改善を図ることを目的に、財務診断書を作成するサービスをおこなっています。損益計算書・貸借対照表を分析し、キャッシュフロー等の改善点を提案するサービスを全店で取り組んでいます。2020年度は、2,935社に財務診断書および自社株評価サービスによる提案活動をおこないました。

●新型コロナウイルス感染症対応について

あおしんは、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う金融支援にいち早く取り組み、発生を踏まえた対応についてホームページに公表し、下記の対応をおこなっています。

緊急相談窓口の設置

- ◆全店に緊急融資相談窓口を設置し、各営業担当者、コールセンターにおいても、幅広い業種に対する支援を徹底しています。
- ◆返済猶予等への対応を迅速かつ柔軟におこなっています。
- ◆補助金・助成金制度を活用した支援体制を強化しています。

新規融資について

信用保証協会によるセーフティネット保証や政策金融機関によるセーフティネット貸付等の活用による資金繰り等の支援体制を強化し、実態に併せた事業者の資金ニーズに迅速かつ適切に対応しています。



お客さま 「経営者保証に関するガイドライン」への取り組み

あおしんは、「経営者保証に関するガイドライン」及び「事業承継時に焦点を当てた『経営者保証に関するガイドライン』の特則」の趣旨や内容を十分に踏まえ、お客さまからお借入れや保証債務整理の相談を受けた際に真摯に対応するための態勢を整備しています。また、経営者保証の必要性については、お客さまとの丁寧な対話により、法人と経営者の関係性や財務等の状況を把握し、同ガイドライン等の記載内容を踏まえて十分に検討するなど、適切な対応に努めています。

なお、2020年度において、新規に無保証で融資をした件数は3,172件、新規融資に占める経営者保証に依存しない融資の割合は17.91%、保証契約を解除した件数は56件です。保証債務整理については、当金庫をメイン金融機関として成立に至ったお申し出はありませんでした。

(注)割合は、四捨五入で表示しています。

お客さま 地域の活性化



●あおしんビジネスマッチング応援サイト

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で、例年開催していた「あおしんビジネスマッチング大会」を2020年度は見合わせましたが、地域の事業者へ新たな支援策としてマッチング専用のWebサイトを開設し、マッチングを支援しています。



<https://aosyn-bm.jp/>

※「あおしんビジネスマッチング応援サイト」
トップ画面

●多摩の物産&輸入品商談会

多摩とその近隣地域の食品・雑貨・輸入品などを扱う企業の販路拡大等の成長支援や地域経済の活性化を目的として、多摩の物産&輸入品商談会を多摩信用金庫と共同開催しています。

2020年11月25日、26日に開催され、大手小売店等の招致バイヤー28社とお客さま68社との間で延べ105組の商談がとりおこなわれました。



お客さま 店舗のご紹介

お客さまにとって、より便利でご来店いただきやすい店舗づくりに取り組んでいます。

●東久留米支店を増築

東久留米支店は、2021年3月26日に1階部分の増築工事を完了し、応接室や相談ブースを設置しました。今まで以上に、お客様のご相談にお応えしていきます。ご来店を心よりお待ちしております。

東久留米支店 住所：東久留米市幸町3-4-14

電話：042-471-1811

※住所・電話番号は変更ありません。

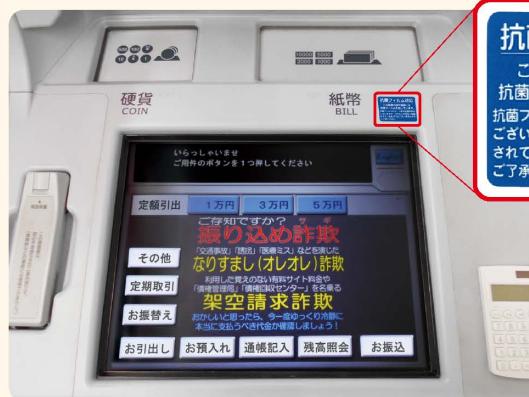


お客さま サービスの向上に努めています

ATMタッチパネル用抗菌液晶保護フィルムを導入しました。

不特定多数の方が使用するATMのタッチパネルには、様々な菌やウイルスが付着している可能性があることから、新型コロナウイルス感染症対策として、あおしんのATM(全98台)に抗菌液晶保護フィルムを導入しました。

抗菌液晶保護フィルムには、指紋が付着しにくい銀イオン加工が施されており、一定の抗菌作用があります。



あおしんと職員

職員がいきいきと働く環境を整えることが、職員の活力向上につながると考えています。

職員 働きやすい職場づくり

仕事と家庭の両立を支援するため、育児休業制度や短時間勤務制度、介護休業制度などを設けており、多くの職員が利用しています。

また、職場復帰を控えている育児休業制度取得者を対象とした「あおしんママ友会」を開催しています。悩みや体験談の意見交換や、業務の変更点の情報共有、保健師による母子の健康管理等により、休職後の職場復帰に対する不安を取り除き、円滑に復職できるよう支援しています。

職員 制服のリニューアル

2021年度に創立100周年を迎えるにあたり、制服をリニューアルいたしました。新しい制服で気持ちも新たに、笑顔でお客さまをお迎えいたします。(2021年4月1日より着用しています。)



職員 クラブ活動

職員が週末を利用し、クラブ活動を盛んにおこなっています。多くのクラブがあり、職員の適度な運動やリフレッシュの場となっております。

2020年度は、新型コロナウィルス感染症感染拡大の影響により、東京都信用金庫健康保険組合主催の大会等は中止となりましたが、ソフトテニス部は第34回日本実業団リーグで第8位に入賞しました。



ソフトテニス部



ワンディハイキング部